

# 「サテライトSEC道後2024」を開催 ◀愛媛の会場から四国管内の3大学・3高専へオンライン配信▶

- 四国総合通信局は令和6年3月8日（金）及び9日（土）、愛媛県松山市で開催の「サイバーセキュリティシンポジウム道後（SEC道後）2024」のプログラムについて、四国管内の大学・高等専門学校に設置した**6箇所のサテライト会場**※にオンラインライブ配信するイベントを実施しました。  
※鳴門教育大学、香川大学、香川高等専門学校（詫間キャンパス）、愛媛大学、新居浜工業高等専門学校、弓削商船高等専門学校、に会場を設置
- 四国管内の大学等から**学生・教職員のべ72名の参加**があり、サイバーセキュリティ分野の第一線で活躍する専門家による講演やパネルディスカッション等の聴講を通じ、最新の情報や地域におけるサイバーセキュリティ対策の重要性などについて学んでいただきました。

## 主なプログラム

### ○3月8日（金）

- ◆ **基調講演「我が国のサイバーセキュリティ政策」**  
総務省サイバーセキュリティ統括官室 サイバーセキュリティ統括官 **山内 智生**
- ◆ **講演①「デジタル社会におけるサイバー空間の脅威への対応」**  
警察庁 サイバー警察局 サイバー企画課 課長補佐 **佐々木 彩乃 氏**
- ◆ **パネルディスカッション**  
**「あらためて考える インシデントに備えて我々は何をしないといけないのか？」**  
＜コーディネーター＞  
国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）  
サイバーセキュリティネクサス 主任研究員 **佐藤 公信 氏**  
＜パネリスト＞  
一般社団法人ソフトウェア協会（研究員）／トレンドマイクロ株式会社 サイバーセキュリティ・イノベーション研究所 セキュリティ・ナレッジ&エデュケーション・センター  
セキュリティナレッジトレーニンググループ（シニアセキュリティサチャー） **今 佑輔 氏**  
一般社団法人日本シーサート協議会 **萩原 健太 氏**  
香川大学 情報化推進統括拠点 情報メディアセンター 助教 **竹原 一駿 氏**

## 参加者の声（アンケートより）

- ・「国の施策の全体像」や「CYNEXの全体像」が見えて、大変参考になった。
- ・システムの構成図やデータフロー図の整備・管理がインシデントの防止や発生時の初動対応において重要であることをあらためて認識した。
- ・事業とセキュリティの両方が分かる人材を養成する必要があると感じた。
- ・事例を積極的に絡めた内容だったのでリアリティをもって聞いてよかった。今後も続けて欲しい。

（お問い合わせ先）四国総合通信局 サイバーセキュリティ室 089-936-5044

### ○3月9日（土）

- ◆ **講演②「わかる！CYNEX ～つながる日本のサイバーセキュリティ～」**  
国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）  
サイバーセキュリティ研究所 副研究所長 **井上 大介 氏**
- ◆ **講演③「JR東日本におけるDXの取組みとサイバーセキュリティ」**  
東日本旅客鉄道株式会社 執行役員  
イノベーション戦略本部統括 **西村 佳久 氏**  
株式会社ラック 代表取締役社長 **西本 逸郎 氏**
- ◆ **講演④「いま何が起きているのか公開事例から読み解く  
～セキュリティ対策ありきではないセキュリティ対策を～」**  
東京電機大学 サイバーセキュリティ研究所 **佳山 こうせつ 氏**

## 会場の様子

